

一

- ① 蒸発
- ② 繁殖
- ③ 完璧
- ④ 不断
- ⑤ 効率

- ⑥ 摂取
- ⑦ 飽
- ⑧ 模倣
- ⑨ 遭難
- ⑩ 絡

① 耳

② 手

③ 目

① 耳

② 手

③ 目

二

問三 私自身、つ（または、つい食後に）

問四 進化時間：人が自然環境に適応し進化していくために必要な、遺伝子に書き込まれるとても長い時間。

歴史時間：文化時間：人が文化的媒体・経路を通じて社会に適応していくために必要な数百年・数千年という時間。遺伝子には書き込まれない。

生活時間：歴史時間・文化時間よりはるかに短い、あることがら、ある場に適応していくために必要な時間。

二

- ア…彫る
- イ…誤り
- ウ…利益
- エ…功績

- 1…ゑり
- 2…ゑれ
- 3…ゑり
- 4…ゑら
- 5…ゑら

I 本文が一種類に定まってしまうと同時に写し本が廃れたり入手困難になったりして本の誤りを正せなくなること

II たとえ誤りがあっても、複数の写し本を比較することにより、よりよい本文を得ることができること

また心ない商人の手で作られたものは、利益のみを考えるために、本文のあちらこちらをこっそり省いて写していくうちに、完全に良い本はただ極めて稀になっていくようである。

専門家に仰せになって、良い書物を比較検討して選定させ、板に彫らせて世に広めなされるような、古書を尊重するところ

① ざしをお持ちの大名や裕福な方がいらっしやればなあ。

三

- ア…しかり
- イ…よりて
- ウ…たちどころに
- エ…ついに
- オ…すなわち

- (1) これちようきようしのきよにあらずや
- (2) ここは張侠士の家ではありませんか。

- (1) よるこび(て)やむことあたわず
- (2) 長年付け狙っていた仇を殺すことができたから。

男が約束通りに帰ってこない上に、人の首を持ったままなので、どうしていいかわからなくなりました。

自分が豪傑ぶっているのにつけ込まれて詐欺に遭ったので、豪傑ぶることの滑稽さを悟ったから。

三

- ア…しかり
- イ…よりて
- ウ…たちどころに
- エ…ついに
- オ…すなわち

- (1) これちようきようしのきよにあらずや
- (2) ここは張侠士の家ではありませんか。

- (1) よるこび(て)やむことあたわず
- (2) 長年付け狙っていた仇を殺すことができたから。

男が約束通りに帰ってこない上に、人の首を持ったままなので、どうしていいかわからなくなりました。

自分が豪傑ぶっているのにつけ込まれて詐欺に遭ったので、豪傑ぶることの滑稽さを悟ったから。